

福 井 県

福 井 県 退 職 校 長 会

結成 昭和44年12月7日

〈現在までの歩み〉

1. 日本教育推進連盟福井県支部の時代（昭和44年度～昭和50年度）

昭和40年4月7日、日本教育推進連盟が結成されて各県に加盟の要請があり、有志が集い検討して昭和44年12月7日開催の総会で、本会の前身である日本教育推進連盟福井県支部が会員246名で発足した。会員は漸増し、昭和50年には338名に至った。

2. 福井県退職校長会、日本教育推進連盟・全国連合退職校長会福井県支部の時代

（昭和51年～昭和61年度）

昭和51年6月26日開催の日本教育推進連盟福井県支部第8回定期総会で、福井県退職校長会の発足が決定され、全国連合退職校長会に正式加入した。本県の加入により、東海北陸ブロック協議会の7県がそろい、協議会が各県持ち回りで開催されることになった。

3. 福井県退職校長会の時代（昭和62年度～現在まで）

昭和62年5月27日開催の定期総会で、発足以来19年間加盟してきた日本教育推進連盟より離脱し、全国連合退職校長会のみにも所属することを決定した。（会員数523名）

平成3年5月に、本会の創立20周年を記念して、「創立20周年記念誌 会の歩み・一言集」を発刊。更に30年を経た平成13年12月に、「創立30周年記念誌 会の歩み・一言集」を、40年を経た平成23年12月に、「創立40周年記念誌 会の歩み・一言集」を、50年を経た令和4年1月には、「創立50周年記念誌 会の歩み・一言集」を発刊した。

〈組織・活動〉

本会の組織は、県本部と15地区の退職校長会から成り、本部役員として、会長1、副会長4、常務理事1、常任理事18、地区理事36で構成。このうち、会長・副会長・常務理事・常任理事で「常任理事会」を構成して会務の立案や事務の執行を行っている。主な事業として、会報「碧窓」の発行、会員名簿の作成、研修旅行等があり、総会後には研修を兼ねた講演会と懇親会を催して親睦を図っている。



創立20～50周年記念誌

近年、コロナ禍における多くの活動の中止や、年金制度の見直し、定年延長の導入等の変化に伴い、会員の連帯意識が低下するとともに、全連退の会員数が減少している。会員数の減少は組織を弱体化させ、会の活動に大きな影響を及ぼす。本県でも新入会員の加入率が低下した時期もあり、会員数の確保は重要な課題である。今後とも、地区支部と連携を取りながら、事業の充実や広報活動の活性化等に尽力し、会員数の確保に努めていきたい。